



(様式第1号)

平成 28 月 5 月 25 日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領域名： ⑥心理・社会的支援の領域

科目名： ⑥-1 心理的支援の知識・技術

単位数： 2

認証申請する研修の名称： 認定介護福祉士養成研修

団体名： 公益社団法人長野県介護福祉士会

団体事務所の所在地： 〒 380-0928
長野県長野市若里 7-1-7

電話： 026-223-6670

FAX： 026-223-6679

E-mail： sakai@kaigo-nagano.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者： 会長 畠山仁美 

申請責任者： 酒井 良育

記

○認定介護福祉士認定研修認証申請書（別紙1～3）

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	心理・社会的支援の領域	
科目名	心理的支援の知識・技術	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> ・援助対象者の心理を理解・支援するうえで必要な心理学に関する知識を習得し、心理的理解と支援の方法を習得させる ・心理学の基本的概念を自己理解、他者理解に活用できるようにするとともに、認知行動療法等の心理的支援の展開方法を習得させる。 	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の心理と行動に関する理論を理解し、説明できる ・自己と他者の心理を理解するための基本姿勢と生じやすいバイアスを理解する ・学習と欲求・動機づけの理論を理解し、支援に応用できる ・心理的理解や支援の基本的技法を知り、実践に取り入れる 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> ○心理学の基本的理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ ところを科学的に研究することの理解 ○自己と他者の心理的理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己概念の理解（社会的アイデンティティ、社会的比較など） ・ 社会的認知（他者理解のバイアス：ステレオ対応、帰属錯誤など） ○学習と動機づけの理解 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の基本原理と応用（行動理論の理解と自立支援への応用） ・ 欲求と適応の理解（マズローの欲求会霜雪防衛機制など） ・ 動機づけの理解と応用（達成動機、内発的動機など） ○心理的支援技法の基礎と実践 <ul style="list-style-type: none"> ・ 心理学的面接技法の理解と応用（カウンセリング等におけるかわりや傾聴の技法の理解と練習など） ・ ストレスと対処方略の理解 ・ 生活支援への認知行動療法等の応用 	<p>1. 心理学の基本と心理的理解</p> <p>○事前課題①（2時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に送られるチェックシートを用い、自分の心理的特性を把握し、日常の認知や行動について自己分析し、持参する。 <p>○心理学の基本的理解（3時間）</p> <p>（講義）ところを科学的に研究してきた過程と現代心理学の動向について学ぶ。</p> <p>○自己と他者理解（2時間）</p> <p>（演習）交流分析に基づく自己理解・分析をグループ内で共有し、認知と行動の傾向についてディスカッションする。</p> <p>○学習と動機づけの理解（4時間）</p> <p>（講義）学習と動機づけ、適応、防衛機制の基本原則を理解する。</p> <p>（演習）自立支援への行動療法的アプローチをグループ毎ワークショップ形式で実習する。</p> <p>○事後課題①（3時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自職場における防衛的な援助対象者の心理を分析し、支援の方法について考えを述べる。（1200字程度） <p>○事後課題②（2時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自職場において動機づけアプローチを実践し、その結果についてA4 1枚程度にまとめる <p>2. 心理的支援技法の基礎と実践</p> <p>○事前課題（2時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に配られた認知行動分析シートを記入し、持参する。

	<p>○心理学的面接技法の理解と応用(2時間)</p> <p>(講義・演習)カウンセリング等で使われる技法を理解し、傾聴の演習を行う。</p> <p>○ストレスと対処方略の理解(2時間)</p> <p>(講義・演習)ストレス理論の理解と、ストレスマネジメントについて学び、セルフケア、ラインケアの実際絵小演習する。</p> <p>○認知症の人とのコミュニケーション技法(1時間)</p> <p>(講義)バリデーション、ユマニチュード等の技法に関する概要及び留意点を理解する。</p> <p>○生活支援への認知行動療法等の応用(3時間)</p> <p>(講義・演習)認知行動療法の基本と事例に対する応用的アプローチについて理解する。持参した認知行動分析シートを用い、グループで認知行動療法的アプローチの実習を行う。</p> <p>○事後課題(4時間)</p> <p>・自職場において認知行動療法的アプローチを実践し、その結果についてA4 1枚程度にまとめる</p>
研修方法	<p>■集合研修</p> <p>■課題学習</p> <p>○集合研修講義と演習を組み合わせで行う。</p> <p>○課題学習は事前・事後課題として、レポート課題を課す。評価は担当講師が行う。</p>
研修時間	30時間(集合研修17時間、課題学習13時間)
修了要件	<p>○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻、早退については合計30分(遅刻、早退それぞれ15分)を上限として認める。(レポート課題なし)1日のプログラムのうち、始めの30分を超える遅刻、終わりの30分を超える早退であって120分以内である場合、レポート課題による代替を可能とする。120分を超える遅刻、早退の場合は、ビデオ学習による補講を行ったうえでレポート課題を提出するものとする。</p> <p>○修了評価として行う筆記試験(50問程度)において、A~C評価(100点満点中60点以上)であること。D評価(59点以下)の場合は、再試験を行い、A~C評価とならなければならない。なお、再試験は複数回の受験を可能とする。</p>
講師要件(講師の選定基準)	<p>・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者</p> <p>・補助者についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者</p>
(2)受講者について	
受講対象(受講要件)	単位取得できるのは介護福祉士資格を有するものであること。
修了評価	筆記試験(50問程度)により行い、100点~80点をA評価、79点~70点をB評価、69点~60点をC評価、59点以下をD評価とする。A~C評価(100点満点中60点以上)で修了とする。
(3)研修の環境条件	
定員(講師の配置基準)	30名(講師1名)演習時も同じ講師が行う。
開催場所(都道府)	JA長野県ビル(長野県長野市)

県)	
----	--

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 平成 29 年 8 月
	②
	③
開催場所 (会場)	① 長野県長野市 JA 長野県ビル
	②
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	担当する講義等 心理的支援の知識・技術 伊藤かおる 氏 精神保健福祉士、産業カウンセラー、コミュニケーション・アイ代表取締役、松本大学・松本大学松商短期大学非常勤講師 長野県介護福祉士会ファーストステップ研修講師 雇用能力開発機構ポリテクセンター松本非常勤講師、長野県中小企業団体中央会非常勤講師、前長野県教育委員会委員、長野県中期総合計画策定委員、長野県産業戦略会議委員、長野県男女共同審議会委員他 著書 「松本に商機あり」(郷土出版社)
	担当する講義等 修了評価 伊藤かおる 氏 (精神保健福祉士) 履歴等は同上
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	研修委員会 (非常勤: 17 名) 事務局 (担当事務局員、常勤: 4 名) 研修委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し、担当講師と科目間の連関や留意点について共有する。 また、できる限り研修委員会の委員が研修を見学し、研修内容を評価するとともに、随時、研修の見直しを図る。
研修の企画運営に関する諸規程	研修委員会設置要綱
研修管理責任者職名	副会長
研修管理責任者氏名	原千香子
機構問合先部署	長野県介護福祉士会事務局
機構問合先担当者氏名	酒井良育
機構問合先電話番号/FAX	026-223-6670 FAX 026-223-6679
機構問合先 e-mail アドレス	sakai@kaigo-nagano.jp
受講問合先部署	長野県介護福祉士会事務局

受講問合せ先担当者氏名	酒井良育
受講問合せ先電話番号/FAX	026-223-6670 FAX 026-223-6679
受講問合せ先 e-mailアドレス	sakai@kaigo-nagano.jp
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	長野県介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	<ul style="list-style-type: none"> ○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○外付けディスクにバックアップデータを保管する。 ○データ保存期間は10年間とし、その後は外付けディスクにてデータを保管する。 ○個人情報の取り扱いにあたっては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	全課程を修了した者には、会長名による修了証書を発行する。
管理責任者氏名	土屋一都(事務局長)
管理担当者氏名	酒井良育(担当の常勤職員)